

I 事業報告

1 事業概要

当公益財団法人は、恵那市から中山道広重美術館の指定管理業務を受託して9年目を迎え、歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版画の展示や体験・学習などの仕組みを通して、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努めた。

館の運営面では、まず、歌川広重の研究者としての実績があり、令和4年4月から嘱託職員として係長不在の学芸業務を支えてきた常包美穂学芸員を8月1日から財団職員の学芸係長に迎え、本来あるべき体制を整えることができた。

収蔵作品では、恵那市ふるさと応援寄付金を活用し、広重最晩年の大作雪月花3部作のうち、雪に当たる地元ゆかりの「木曾路之山川」を購入することができた。

地元の企業に観覧料相当額をご負担をいただき、観覧者の入館料を無料とするスポンサー制度は、去年から新たに始まった毎週水曜日の観覧料を無料とするフリーウェンズデーが新規1社、継続2社で2期目に入り、また、毎週金曜日の観覧料を無料とするフリーライダーも、これまで通り3社の応募があり、10月には7年目を迎えることができた。このように大変厳しい経営状況の中でも6企業様からご支援をいただくことができ、水曜日と金曜日の観覧入場者は5,225人と、総観覧入場者数の約34.6%を占めた。

展示事業は、8つの展覧会を企画した。春季特別企画展として、大衆メディアとして江戸庶民の目を楽しませ、西洋文化を受容した幕末以降、さらに幅広い表現形式による多種多様な画題を展開していく浮世絵を紹介する「幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい」を開催した。秋季特別企画展では、風景画の名手である歌川広重の画業の根幹とされる「写真（しょううつし）」（写生）をテーマに取り上げた「広重翁－晩年の画業と「写真（しょううつし）」」を開催し、晩年における広重の風景画の核心に迫った。

教育普及事業では、「江戸庶民の遊びと楽しみ」と題した連続6講座を開催した。また、第20回こども版画コンクールを市内各学校の協力を得て開催。版画制作の授業に応援講師を派遣する制度では、要請のあったこども園3園と小学校2校へ、延べ10日、延べ16人の版画経験講師を派遣し、こども園、小・中学校、特別支援学校から2,294点の作品応募があった。

収益事業では、来館者の増加に加えて、本格的な復刻版画や展示内容や季節に合わせた商品、大手通販会社「フェリシモ」とのコラボによる「広重おじさん」関連商品などが好評で、令和4年度を上回る売上があった。

そのほか、歌川広重の浮世絵を収蔵する館同士として、1年前から交流を模索してきたポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガと令和6年3月28日に「友好協力協定」を締結し、美術館同士の交流が海外に広がることとなった。

以上、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類の位置づけとなり、人流が活発化し、海外及び国内の観光客の動きはコロナ前の状況に戻ってきたことなどにより、年間観覧入場者数は、令和4年度を915人上回り15,069人となった。

1. 展示事業

① 特別企画展・特別展観

	事業名	事業概要	開催期間
1	幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい	最新の流行やさまざまな情報を伝える大衆メディアとして江戸庶民の目を楽しませ、長きにわたり愛された浮世絵。西洋文化を受容し、さらに幅広い表現形式による多種多様な画題を展開していった幕末から明治の色鮮やかな浮世絵を紹介した。 観覧者数 3,337人	前期 4月6日(木)～5月7日(日) 後期 5月11日(木)～6月18日(日)

2	木曾海道六拾九次之内	当館コレクションの中でも最も美しい揃物「木曾海道六拾九次之内」を全点展示。歌川広重と溪斎英泉が中山道をテーマに描いた世界に誇る優品の年に一度のお披露目を行った。 観覧者数 1,755人	8月31日(木)～10月1日(日)
3	広重翁一晩年の画業と「写真(しょううつし)」	風景画の名手、歌川広重。50代に手掛けた絵手本では「写真(しょううつし)をなして是に筆意を加ふる」と説いており、その画業の根幹には「写真」(写生)があった。本展では晩年の広重風景画の核心に迫った。 観覧者数 3,697人	前期 10月5日(木)～11月5日(日) 後期 11月9日(木)～12月10日(日)

② 企画展

	事業名	事業概要	開催期間
1	うきよえ“う”づくし	歌川広重の手になる魚(うお)づくしと呼ばれる揃いものを中心に、うみ(海)、うお(魚)、うま(馬)など、「う」きよえに描かれた「う」の付くものを紹介した。 観覧者数 1,206人	6月22日(木)～7月23日(日)
2	うたう浮世絵	浮世絵には名所名物を描いたものや美人を描いたものの他にも、説話、物語、芝居などを題材にした作品が数多くある。画中に狂歌や俳諧が記された作品などもあり、浮世絵の中で語られた物語や詠われた歌を読み解きつつ紹介した。 観覧者数 1,384人	7月27日(木)～8月27日(日)
3	ぐるり上方名所めぐり	徳川の世となり、政治の中心は江戸へと移ったものの、依然、文化や経済の中心地としてにぎわった上方。京・大坂の有名スポットはもちろん、「近江八景」(滋賀県)など、見どころ満載の上方名所を紹介した。 観覧者数 832人	12月14日(木)～令和6年1月21日(日)
4	吉村コレクションー日常を彩る美	当コレクションは恵那市出身の故・吉村トシ子氏の旧蔵品と、寄付金により購入された浮世絵とで構成されている。その中から選りすぐりの名品を紹介した。 観覧者数 866人	1月25日(木)～2月25日(日)
5	お江戸浮世絵プロデューサー	浮世絵版画は、絵師、彫師、摺師の分業制からなる商業出版物。その企画から販売までを統括していた浮世絵制作のプロデューサーともいえる版元たちに注目し、江戸の出版事情を紹介した。 観覧者数 1,911人	2月29日(木)～3月31日(日)
6	令和6年度 実施展覧会の企画準備		
7	令和7年度 企画展に関する調査、研究		

2. 教育普及事業

	事業名	内 容	時 期
1	連続講座（全6回） 江戸庶民の遊びと愉しみ	浮世絵鑑賞の素地となる江戸文化への理解を深めるべく、歌舞伎、相撲、見世物、狂歌、盆栽、愛猫といった多種多様な江戸庶民の趣味や娯楽を取り上げて紹介した。	4/8(土) 倉橋 正恵 氏 5/13(土) 大久保範子 氏 6/10(土) 川添 裕 氏 10/7(土) 小林ふみ子 氏 11/11(土) 田口 文哉 氏 12/9(土) 津田 卓子 氏
2	学芸員実習の受け入れ	学芸員資格取得希望の学生等を対象に、学芸員実習の受け入れを行い、地元地域出身の大学生1人が受講。（愛知学院大学）	8月16日(水)～20日(日)
3	ミュージアムナイト (夜間開館)	中央通り商店街夏まつりに合わせて午後8時まで開館。終日入館無料とした。	8月14日(月)午後8時まで
4	夏休みイベント	会期中ご来館の18歳以下の方全員に展覧会にちなんだ菓子をプレゼント。拡大した浮世絵を背景に自由に撮影ができるスポットを設置。展示作品の中に描かれる「おじさん」を探すゲームを実施。	うたう浮世絵 7月27日(木)～8月27日(日)
5	こども版画コンクール応援 講師の派遣	こども園3園と小学校2校から、こども版画コンクール参加作品制作授業に講師派遣の希望があり、延べ10日、延べ16人の応援講師を派遣した。	9月6・20日、11月8・15日、12月7・11・13日、1月10・11・12日
6	第20回恵那市こども版画コンクールの開催	自分の住むまちのよさや、ふるさとへの愛着をテーマとして実施。20回記念賞を設置し、SDGs賞も継続した。 応募総数2,294点、特別賞20点、奨励賞28点、入選124点	作品展 2月29日(木)～3月17日(日) 表彰式（広重賞ほか特別賞及び奨励賞） 3月3日(日)

3. その他の事業

1	企業様に観覧料相当の金銭的負担をいただき観覧料を無料とするスポンサー制度は、(株)銀の森コーポレーション、金子建築工業(株)、(株)サラダコスモの3社様で金曜日に、(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタの3社様で水曜日に実施することができた。6期目となる金曜日の1年間の観覧入場者は3,120人、2期目となる水曜日の観覧入場者は2,105人で、スポンサー制度による無料観覧入場者は5,225人となり、総観覧入場者15,069人の約34.7%を占めた。
2	恵那市ふるさと応援寄付金を活用した作品購入（「木曾路之山川」1点、8,800,000円） 財団の美術作品取得資金積立継続（目標額：1,100万円）
3	国内外の美術館、博物館との情報共有や情報交換を通じた連携と交流を行った。歌川広重の浮世絵版画を含む日本美術コレクションを所蔵しているポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガと、3月28日に「友好協力協定」を締結した。

4. 収益事業（収益事業等会計）

ミュージアムショップ運営

- (1) 美術館関連商品を販売した。
- (2) 展覧会関係グッズ、図録を販売した。
- (3) オリジナル商品を企画制作し販売した。
- (4) インターネットによるグッズ・図録のネットショップ販売を行った。

5. 管理事業（法人会計）

- 1 理事会・評議員会を適切に運営した。
- 2 公益財団法人を適切に運営した。
- 3 美術館の施設を適切に管理した。

2 理事会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
第1回理事会	令和5年5月19日	第1号議案	令和4年度事業報告及び附属明細書の承認について
		第2号議案	令和4年度収支決算書の承認について
		第3号議案	事業報告等に係る定期提出書類の承認について
		第4号議案	定時評議員会の招集について
		報告1	職務執行状況の報告について
		協議・報告	①評議員の選任に関する承認について ②定款の一部変更に関する承認について
第2回理事会	令和5年10月11日	第1号議案	令和5年度予算書(10月補正)の承認について
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②財団職員の採用について ③令和5年度事業計画(案)について ④恵那市ふるさと応援寄付金による作品購入について ⑤中山道広重美術館スポンサー制度の継続について ⑥日本美術技術博物館マンガとの交流について
第3回理事会	令和6年3月8日	第1号議案	公益財団法人中山道広重美術館職員の給与等に関する規程の変更について
		第2号議案	令和5年度補正予算の承認について
		第3号議案	令和6年度事業計画書の承認について
		第4号議案	令和6年度収支予算書の承認について
		第5号議案	令和6年度資金調達及び設備投資に係る見込みについて
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②次回の理事会の開催と定時評議員会の招集(案)について ③スポンサー制度の申し込みについて ④日本美術技術博物館マンガとの協定について ⑤立入検査の結果について

3 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
定時評議員会	令和5年6月9日	報告1	令和4年度事業報告について
		第1号議案	令和4年度決算書(貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書)の承認について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	定款の一部変更に関する承認について
		報告	①令和5年度事業計画及び収支予算について

4 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和5年6月9日	岐阜地方法務局中津川支局	評議員の氏名の変更	令和5年7月18日

5 役員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
理事長	1	長谷川 佳子	平成24年 4月 1日就任
副理事長	1	小嶋 初夫	令和 2年 6月 9日就任
専務理事	1	伊藤 英晃	令和 4年 6月10日就任
理事	11	市川 彰	令和 2年 6月 9日就任
		大塚 康芳	平成24年 4月 1日就任
		小川 智明	令和 2年 6月 9日就任
		柄澤 史枝	令和 4年 6月10日就任
		瀨 瀨 満	平成27年 6月19日就任
		河野 ほのみ	令和 4年 6月10日就任
		永谷 茂美	平成24年 4月 1日就任
		西部 良治	令和 2年 6月 9日就任
		長谷川 英司	平成30年 6月 7日就任
		原 淑子	平成28年 6月 2日就任
監事	2	堀 誠	令和 4年 6月10日就任
		柘植 麻美	平成24年 4月 1日就任
		村松 光則	令和 4年 6月10日就任

6 評議員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
評議員	13	阿部 伸一郎	平成28年 6月 2日就任
		安藤 俊幸	平成30年 6月 7日就任
		井口 英一	平成24年 4月 1日就任
		市川 祥子	平成28年 6月 2日就任
		大塩 康彦	平成25年 5月29日就任
		各務 一彦	令和 2年 6月 9日就任
		小坂 幸光	平成28年 6月 2日就任
		後藤 光男	令和 4年 6月10日就任
		鈴木 隆一	平成26年 6月 6日就任
		中島 克子	令和 2年 6月 9日就任
		鈴村 幸宣	令和 5年 6月 9日就任
		長瀬 久美子	令和 5年 6月 9日就任
		榎島 春枝	平成24年 4月 1日就任

7 職員に関する事項

区分	担当	人数
美術館長 (嘱託・事務局長)	統括	1
事務職員	学芸係長	1
嘱託職員	総務係長	1
嘱託職員	学芸員	2
嘱託職員	デザイナー	1
嘱託職員	案内・ショップ	1
臨時職員	案内・ショップ	1
臨時職員	学芸補助	1

8 附属明細書

令和5年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。